



【正誤表】

『創傷のすべて —キズをもつすべての人のために』

本書 p.380 に下記誤りがございました。
ここに謹んで訂正させていただきます。

■蛋白質

2. 蛋白質の質

侵襲下では、グルタミンおよび**脂肪酸**の需要量が通常よりも高まり、条件付き必須アミノ酸と呼ばれる。

グルタミンは、侵襲下では小腸粘膜のみならずリンパ球、好中球、マクロファージの主たるエネルギー源となる⁸⁾ため、需要量が増す。

脂肪酸は、成長ホルモン、IGF-1の分泌を刺激し、創傷治癒を促進させる。さらに一酸化炭素（nitric oxygen：NO）の前駆体となる。その代謝産物として産生されたNOは、感染巣に1～3日で出現し殺菌能を発揮する好中球、マクロファージに殺菌能を付与する⁹⁾。さらにNOは細動脈の拡張効果を介し、創傷への血流、酸素、栄養素の供給量を増加させ、創傷治癒を促す¹⁰⁾。しかし敗血症においては、**脂肪酸**はpro-inflammatory nutrientとして、この血管拡張がショック症状を来たすリスクを要するとも言われる。しかし、その真偽の判定にはさらに十分な検討を要する。

【誤】 上記3カ所「脂肪酸」

【正】 すべて「アルギニン」